道　　徳

1　編集の具体的方針

(1)　各学年の分冊は次のとおりである。

なお，第１学年第１巻（１－１）は，点字学習の開始時期であることへの配慮と製本上の都合により，片面印刷としている。

第１学年	１－１　41 ページまで	１－２　42～152 ページ
第２学年	２－１　75 ページまで	２－２　76～152 ページ
第３学年	３－１　81 ページまで	３－２　82～160 ページ
第４学年	４－１　83 ページまで	４－２　84～160 ページ
第５学年	５－１　87 ページまで	５－２　88～176 ページ
第６学年	６－１　87 ページまで	６－２　88～176 ページ

(2)　編集にあたっては，基本的には原典教科書に大きな変更を加えることなく点字化を行った。点字を使用する児童の学習活動として成り立ちにくいものや理解しにくい題材については，点字表記の特性も踏まえて，次のような「変更」「追加」「削除」を行った。

①　児童の生活経験からは理解が難しい事柄については，備考欄に配慮事項として記載した。単元の中で取り上げることで，児童の生活経験を広げることが望ましい。

【例】第１学年「28　こくばんとうばん」―　黒板当番
第３学年「15　楽しめばすきになる」―　漢字練習

②　動作や表情を伴う表現については，動きと意味を確認することを配慮事項として記載した。

【例】第１学年「10　くまさんのおちゃかい」―　下を向く
第６学年「６　友達だからこそ」―　しぶい表情

③　視覚的な美しさや感動など，見なければ理解が難しいものについては，配慮事項として記載した。

【例】第４学年「31　十さいのプレゼント」―　夜明けの山の情景
第５学年「23　パール富士のかがやき」―　ダイヤモンド富士，パール富士

④　必要に応じて漢字の説明の追加，表記の変更，配慮事項への記載を行った。

【例】第４学年「34　タイガとココア」―　タイガ（大きな河）
第６学年「22　ひたすらに，自分の心に従って―棟方志功―」―　板画（「はん」は「いた」）

⑤　児童自身の視覚を伴う活動については変更を行った。

【例】第１学年「みにつけよう　れいぎ・マナー」―　たちどまってあいてを

みる→たちどまってあいてのほうにからだをむける

【例】第５学年「24　食品ロスをどう防ぐ？」―　三つの絵を見て→三つの場面について

⑥　点字表記の特性を踏まえて，番号や記号を付けて，全体の構成がわかりやすいように変更を行った。

【例】第１学年「３　きもちのよいせいかつ」

第６学年「18　〇〇しながら」

⑦　学習活動の中で，表に書き出す課題では，児童自身が実際にノートに筆記できる形式に変更を行った。

【例】第６学年「ごみ問題の解決に向けて」

(3)　写真や絵の扱いについて

①　写真や絵は，原則として削除した。題材の理解の助けとなるもの，児童の興味関心を喚起するものについては，絵の説明や写真の説明を加えた。また，読み取りが児童の負担にならないことに配慮しつつ，各学年に２枚程度の点図を入れた。

【例】第２学年「６　あと少し」―　絵の内容を（例）として記載

第３学年「４　ふろしき」―　ふろしきの包み方を文章で記載

第２学年「18　はりきりパンダとだらだらパンダ」―　はりきりパンダとだらだらパンダを点図化

第５学年「27　新幹線開発物語」―　新幹線ひかり号を点図化

②　低学年の絵や写真を中心とした題材は，題材の狙いに沿って文章化した。

【例】第１学年「１　がっこうだいすき」

③　漫画は場面の説明を加え、（マンガ）と書いた実線枠で囲んだ。

【例】第４学年「23　見方を変えて前向きに」

第６学年「18　〇〇しながら」

(4)　障害や病気に関連した題材について

障害や病気に関する内容が取り上げられている教材が複数ある。特に，神経芽細胞種に触れた教材等は，児童の実態に応じたきめ細かい指導の工夫及び配慮が必要である。また，障害について触れた教材では，当事者の視点を加えることで，より深い学びにつなげていくことが望ましい。

【例】第３学年「24　光祐くんのアサガオ」―　白血病

第５学年「17　ルールを守る」―　障害者等用駐車場

(5)　レイアウトについて

①　目次にある「マークの意味」は，「目次の言葉の説明」とし，「とくに大切にするテーマ」については，教材名の前に第一星印を付けて示した。内容については，第１括弧で囲んで見出しの後に掲載した。

②「どうとくで学習すること」にある絵マークをそれぞれ次のように変更し，「見出しの言葉の説明」として目次の後に掲載した。また，本文の見出しの後に，第１括弧で囲んで掲載した。

（自分）―自分のこと

（まわりの人）―まわりの人のこと
（みんなや社会）―みんなや社会のこと
（命や自然）―命や自然のこと

③　「タブレットのつかいかた」「がっこうのせいかつできをつけること」については，２次元コードを削除してＵＲＬを記載し，内容を目次の後に掲載した。

④　「考えよう」「深めよう」「やってみよう」等の課題には，番号や記号，第一星印を付すなどの変更を行った。「考えよう」の星印は，番号の前に第一星印を付して示した。学習のふり返りについては，「ふり返ろう」として，各単元の最後に掲載した。

⑤　「やってみよう」や，本文中の手紙，地色の違う部分などは実線枠で囲み，他の部分と区別できるようにした。

⑥　児童の顔のイラストや「マナビィ」の吹き出しは，第１カギで囲んだ。

⑦　巻末の「学習内容一覧」は削除した。

⑧　「注」は原則として，奇数ページの欄外に掲載した。

⑨　原典教科書のページは，「⠿」で挟んでページ行の左側に掲載した。児童への周知のために，目次の最後に，「墨字の教科書のページは，ページ行に⠿⠉⠉⠿のように書いてあります。」と記載した。

⑩　編集資料における変更内容の表記は，原典教科書が分かち書きをしており，参考資料も多い第１学年を，分かち書きと切れ続き，長音符号や仮名遣いなど，点字表記に近い形で表した。

(6)　点字表記及びレイアウトについて

①　点字表記及びレイアウトについては，『日本点字表記法　2018 年版』（日本点字委員会編集・発行）に拠った。

②　点字符号や特殊音については，特に低学年で，国語でまだ学習していないものを使用している箇所がある。名称や用法を確認し，点字表記法の知識を広げたい。

(7)　「まなびリンク」について

今回の改訂で，「まなびリンク」が「教材の解説」と，関連するウェブサイトにリンクする「資料」の２種類となった。「教材の解説」は３年生以上はほぼすべての単元に付けられている。「資料」は視覚障害のある児童にとって利用しづらいものもあるが，役に立つものも多くある。１，２年生は目次の後に一覧を掲載した。３年生以上は「解説」「資料」として，第１括弧で囲んで本文の見出しの後に掲載した。

２　編集の具体的内容

学年	ページ	行	変更事項	変　更　内　容	備　考
1-1				**「１　がっこー　だいすき」**	
	６・７		変更	（絵を次のように文章化した。） やすみ　じかん こーていで　あそぼー てつぼー　　おおなわとび　　おいかけっこ かだんに　みずやり しいくがかりわ　うさぎに　えさやり じょーきゅーせいの　おにいさん　おねえさん くるまいすの　ともだち がいこくじんの　ともだち みんな　にこにこ　たのしいね	編集の具体的方針(3)-②による。
	８・９		変更	（絵を次のように文章化した。） じゅぎょー　じかん こくご さんすー せいかつ おんがく ずが　こーさく たいいく どーとく じりつ　かつどー みんなで　そーじ としょしつで　ほんよみ がっこーにわ　いろいろな　じゅぎょーが　あるよ	編集の具体的方針(3)-②による。
	10･11		変更	**「２　あいさつの　ことば」** （絵を次のように文章化した。） がっこーに　いく　とき　いえの　ひとに あさ　こーもんで　せんせいに きゅーしょくを　たべる　とき きょーしつで　おとした　ものを　ともだちが ひろって　くれた　とき かえりに　ともだちと　わかれる　とき よる　ねる　とき　かぞくに	編集の具体的方針(3)-②による。
				「３　きもちの　よい　せいかつ」	

12･13		変更	（絵を次のように文章化した。） （あさ） １．６じ　３０ぷんに　じぶんで　おきます。 ２．かぞく　そろって　あさごはんを たべます。 ３．ともだちと　いっしょに　がっこーに いきます。 （よる） ４．おもちゃや　ほんを　かたづけたり，のこった おこづかいを　ちょきんばこに　いれたり します。 ５．ねる　まえに　あしたの　もちものを そろえます。 ６．しっかり　はみがきを　します。 ７．９じにわ　あしたの　きがえを　よーい　して ねます。	編集の具体的方針(2)-⑥，(3)-②による。
18･19		変更	**「５　これって　いいのかな」** （絵を次のように文章化した。） （きょーしつ） すわって　べんきょー　する　ひと ぼーる　あそびを　する　ひと つくえに　らくがきを　する　ひと （としょしつ） すわって　しずかに　ほんを　よむ　ひと つくえの　うえに　たって　いる　ひと よんだ　ほんを　かたづけない　ひと （ろーか） はしって　いる　ひと あるいて　いる　ひと （そーじの　じかん） ともだちと　きょーりょく　して　そーじを　する ひと ほーきを　ふりまわして　あそぶ　ひと （こーてい） おいかけっこを　する　ひと すべりだいの　じゅんばんを　まもらない　ひと すべりだいを　ぎゃくから　のぼる　ひと はなに　みずやりを　する　ひと かだんに　むかって　ぼーるを　ける　ひと きの　えだを　おる　ひと	編集の具体的方針(3)-②による。

			（どーろ） とびだしを　する　ひと おーだん　ほどーを　てを　あげて　わたる　ひと わたりおえて　こーつー　しどーいんさんに あいさつ　する　ひと あるきながら　ほどーに　あきかんを　すてる ひと ごみばこに　あきかんを　すてる　ひと ほどーを　ふさいで　おしゃべりを　する　ひと	
19	上段	変更	（次のように変更した。） 「どこに　いますか」→「どんな　ことを　して いますか」 「それを　みて」→「それに　ついて」	編集の具体的方針(2)-⑤ による。
			「6　かぼちゃの　つる」	
	絵	変更	（つるを伸ばしたかぼちゃを点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-① による。
21	上段	追加	（絵を削除し，場面の状況が分かるように次の文を追加した。） すいかが　いいました。	編集の具体的方針(3)-① による。
22	下段	追加	かぼちゃの　つるわ　くるまに　ひかれて， ちぎれて　しまいました。	
			「7　ハッピーチェンジ」	
24	絵	変更	（水の入ったコップを点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-① による。
	上段	変更	（次のように変更した。） 「コップを　みて，きづいた　ことわ あるかな。」→「コップにわ　どれくらい　みずが のこって いるかな。」	編集の具体的方針(2)-⑤ による。
	下段	変更	「ふたりわ，　おなじ　コップを　みて　いるのに」 →「ふたりわ，　おなじ　コップの　はなしを　して いるのに」 「みかたを　かえると　ちがう　みえかたに」→ 「かんがえかたを　かえると　ちがう かんじかたに」	編集の具体的方針(2)-⑤ による。

	25	上段	変更	（絵を削除し，次のように変更した。） 「ゆっくり　ゆっくり　かいて　いる」→ 「ゆっくり　ゆっくり　どーぶつの　えを　かいている」	編集の具体的方針(3)-①による。
	27	上段	変更	（絵を削除し，内容を単語で記載した。） こーさく　しょーぎ　げーむ　ほんよみ…	編集の具体的方針(3)-①による。
	36	絵	変更	**「10　くまさんの　おちゃかい」** （「けいじばんの　はりがみ」を枠で囲み，紅茶カップとクッキーを点図で表した。） こんどの　にちよーび，　２じから ひろばで　おちゃかいを　します。 みんな　きてね。　　くま （紅茶カップとクッキーの点図）	編集の具体的方針(3)-①による。 ＊紅茶カップなど，身近にある物の点図に親しむ機会としたい。
	39	1 上段		「さるさんわ　したを　むいて　しまいました。」 「したを　むいた　さるさんわ」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「下を向く」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
	41		追加	**「よく　たしかめてから　つたえよー」** （絵を削除し，場面の説明を加えた。） 【資料１】	編集の具体的方針(3)-①による。
1-2	43		変更	**「11　にちよーびの　できごと」** （場面に番号を付し，吹き出しの内容を文中に記した。） 【資料２】	編集の具体的方針(2)-⑥，(3)-①による。
	49	5		**「12　すてきな　きょーしつ」** 「めが　あった」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目が合う」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
				「13　二わの　ことり」	

50	1 2		「みそさざい」「やまがら」 「うぐいす」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては説明を加える等の配慮が必要である。
61	9	削除	「16　ダメ！」 （「・」は削除した。） 「お・は・よー」→「お　は　よー」	編集の具体的方針(2)-④による。
65		追加	「いじめる　いじめられる」 （絵を削除し，場面の説明を加えた。） 【資料３】	編集の具体的方針(3)-①による。
70	11	削除	「17　たのしかった　はいきんぐ」 （「♪」は削除した。）	編集の具体的方針(2)-④による。
75	1・2		「18　きいろい　ベンチ」 「かおを　みあわせました。」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
76			「19　けしごむくん」 「けしごむ」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては説明を加える等の配慮が必要である。
		変更	（次のように変更した。） 「みんなわ，どんな　けしごむを　もって いるかな。」→「どんな　けしごむが　でて くるかな。」	編集の具体的方針(2)-②による。
88		変更	「21　にっぽんの　ぎょーじ」 （「にっぽんの　ぎょーじ」とタイトルをつけ，実線枠で囲んだ。写真を削除し，右上から下に向かって名称を順に記載した。）	編集の具体的方針(5)-⑤による。

94 98 99	1 4 3 1 6		「23　ひとつぼし」 「ほし」 「ひかる」 「ひかり」 「かがやく」 「まぶしい」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては説明を加える等の配慮が必要である。
101			「ひとりに　ひとつの　いのち」 （写真を削除し，上から順に次のように記載した。） べんきょー すぽーつ そーじ どくしょ	編集の具体的方針(3)-①による。
102 103		追加 変更	「24　せかいの　しぐさ」 （絵を削除し，にっぽんの「すばらしい！」のしぐさを説明する項目を加えた。） （次のように変更した。） 「『いいよ』の　しぐさ」→「ともだちに『あそぼー。』と　いわれた　ときの　『いいよ』の　しぐさ」 【資料４】	編集の具体的方針(3)-①による。 編集の具体的方針(2)-②による。 ＊実際に動作を行うことを通して，類似点や相違点に気づくことができるよう配慮が必要である。
104～ 108 109		追加 追加	「25　あのね」 （絵を削除し，場面の説明を加えた。） 【資料５】 （絵を削除し，絵の説明を本文の後に記載した。） （えの　せつめい）かびんを　わった おとこのこが　「どー　しよー」と　いって いる。	編集の具体的方針(3)-①による。
120			「28　こくばん　とーばん」 「こくばん　とーばん」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては説明を加える等の配慮が必要である。

124	1		「かおを　みあわせる」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と言葉の意味を確認する必要がある。「18　きいろい　ベンチ」での「顔を見合わせる」とは意味が異なることも確認したい。
129	下段	削除	**「29　七つの　ほし」** （「よく　みて　みると」を削除した。）	編集の具体的方針(2)-⑤による。
135		変更	**「30　もりの　ゆーびんやさん」** （こりすの手紙を葉の形の枠線で囲んだ。）	編集の具体的方針(3)-①による。
136･137		変更	**「31　いのちを　たいせつに」** （場面に番号を付し，実線枠で囲んだ。絵の説明は「　」で囲み，次のように変更した。） （１） おかあさん　　「おなかの　なかの あかちゃんの　ためにも　すききらい　なく， たくさん　たべよー！」 （２） 「おぎゃー，　うまれたよ。」 （３） 「うまれて　きて　くれて　ありがとー。」	編集の具体的方針(2)-⑥(3)-①による。
146			**「34　ねんがじょー」** 「ねんがじょー」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては説明を加える等の配慮が必要である。
150		変更	**「みに　つけよー　れいぎ・　まなー」** （次のように変更した。） 「あごを　かるく　ひき，　すこし　さきを	編集の具体的方針(2)-②⑤による。

				みる。」→「かおを　あげて，　あごを　かるくひく。」	＊実際に体を動かしながら習得していけるよう配慮が必要である。
	151		変更	（次のように変更した。） 「たちどまって　あいてを　みる。」→ 「たちどまって　あいての　ほーに　からだをむける。」	
			削除	（「しせんを　したに　むけながら」を削除した。）	
			変更	「からだを　かたむける。」→「からだを　まえにかたむける。」 「からだを　おこして　あいてを　みる。」→ 「からだを　おこして　あいてに　かおをむける。」 「せなかが　まるい」→「せなかが　まるまっている」 「あたまだけ」→「あたまだけ　さげる」	
2-1	8	写真	変更	**「1　春が　いっぱい」** （写真を削除し，右上から下に向かって名称を順に記載し，マークはそれぞれ文字で表した。） ⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝ 　春に見られるどうぶつやしょくぶつ もんしろちょう（どうぶつ） しろつめくさ（しょくぶつ） 　… ⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝	編集の具体的方針(3)-①による。
	20	3 5		**「5　お月さまと　コロ」** 「草のつゆの玉」 「つゆの玉に顔をうつして」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	22～24	1 2		**「6　あと　少し」** 「なわとび」 「二じゅうとび」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的

				に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
25	絵	追加	**「がんばりつづける　力」** （絵を削除し，絵の内容を，本文の後に（れい）として記載した。） （れい） 犬のさん歩を毎日する。 プールでおよぐれんしゅうをする。 ピアノをひくれんしゅうをする。 ごみあつめのお手つだいをする。	編集の具体的方針(3)-①による。
29	2		**「7　もうやらない！」** 「うつむいていた　顔を　上げて」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「うつむいていた顔を上げる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
43	絵	変更	**「知らない　うちに　だれかを　きずつけて　いるかも……」** （絵を削除し，場面を説明する文章を追加した。） ⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒ 1 ２人の女の子がなわとびをしている。 なわとびがとくいな女の子「こんなの２年生だから、できてとうぜん。」 なわとびがにが手な女の子（えっ……。） ⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒ 2 うんどうをする前に，チーム分けがはっぴょうされた。男の子と石川くんが話していて，少しはなれたところに山田くんがいる。 林くん「山田くんと同じチームかあ。……」 山田くん（えっ……。） ⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒⠒	編集の具体的方針(3)-①による。
52	下部	追加	**「13　もったいない」** （絵を削除し，場面を説明する文を追加した。） （ぼくが歯みがきをするときに）	編集の具体的方針(3)-①による。

				ジャージャー，お水のだしっぱなし。……	
	64	1	追加	**「16　ぽんたとかんた」** （絵を削除し，たぬきの話であることがわかるよう，本文の１行目冒頭に「たぬきの」を加えた。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	68 69 71	1 1 2		**「17　いいのかな」** 「一りん車」 「きゅうしょく当番」 「顔を見合わせました」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。 編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
	73	絵	変更	**「18　はりきりパンダとだらだらパンダ」** （「はりきりパンダ」「だらだらパンダ」を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	75	絵	変更	**「自分のやるべきこと」** （絵を削除し，絵の内容を，本文「～やるべきことがあります。」の後に（れい）として記載した。） （れい） 学校で　―　そうじをする，勉強をする 家で　―　食べたあと自分の食きをながしにはこぶ，明日の持ち物のじゅんびをする	編集の具体的方針(3)-①による。
2-2	88～90	写真 絵	変更	**「22　くらべてみよう　日本とせかい」** （写真や絵は削除し，項目ごとに，国名を順に記載し，特徴をそれぞれ言葉や文で表した。） 【資料６】 「スパスィーバ」	編集の具体的方針(3)-①による。 ＊実物の箸を触察したり，実際に動作を行ったりすることを通して，類似点や相違点に気づくことができるよう配慮が必要である。 編集の具体的方針(6)-②

					による。 ＊「スィ」の表記は未習のため，確認し，触れる機会としたい。
	97	絵	変更	**「23　きつねとぶどう」** **「ありがとうのつたえ方」** （絵を削除し，絵の内容を，本文の後に（れい）として記載した。） （れい） お父さんに手紙を書く。 おばあちゃんにかたたたきをしてあげる。	編集の具体的方針(3)-②による。
	111	絵	変更	**「生まれたいのちは」** （絵を削除し，絵の内容を，本文「～ささえられています。」の後に，（れい）として記載した。） （れい） いっしょにあそんでくれるおじいちゃんとおばあちゃん。 勉強を教えてくれる友だち。 いっしょにごはんを食べる家ぞく。 あんぜんにおうだん歩道をわたれるように，見まもってくれる交通しどういんさん。	編集の具体的方針(3)-②による。
	113	11		**「27　とおるさんのゆめ」** 「しいくごや」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	125 125 125	7 12 14		**「30　しあわせの王子」** 「わたしの右目のサファイアをとどけておくれ。」 「左目のサファイアをとどけるように」 「王子は，目が見えなくなってしまいました。」	編集の具体的方針(4)による。 ＊目を貧しい人にあげてしまい目が見えなくなってしまったという内容や記述について，十分な配慮が必要である。
	144・	写真	変更	**「35　日本のたから　富士山」** （富士山の写真を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①

	145				による。
3-1	22・23	上段	変更	**「4　ふろしき」** （絵を削除し，文章化した。） 【資料７】	編集の具体的方針(3)-①による。 ＊資料を参考にしながら，児童の実態に合わせた方法で実際にふろしきの使い方を確認して理解を深められるとよい。
	24	9		**「5　ライラックのさく庭で」** 「目が合いました」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目が合う」という言葉の実際の動作と意味を確認する必要がある。
	29	中段	変更	（写真を削除し，キャプションを記載した。） （写真）「マカロン　キッシュ　ガレット」	編集の具体的方針(3)-①による。
	29	下段	変更	（写真）「ルーブルびじゅつ館」	
	30		変更	**「6　ヒキガエルとロバ」** 「動物や植物を見て」→「動物や植物にふれて」	編集の具体的方針(2)-⑤による。
	55 57	13 11		**「12　悪いのはわたしじゃない」** 「目を合わせる」 「目にも力が入っていた」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目を合わせる」「目に力が入る」という言葉の実際の動作と意味を確認する必要がある。
	68～71			**「15　楽しめばすきになる」** 「漢字練習」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	70	4	追加	（漢字の説明を追加し，文章を次のように変更し	編集の具体的方針(2)-④

				た。） 「住」→「住所」の「住」 （「住」の字形を点線文字で表した。）	による。 編集の具体的方針(3)-①による。
	72～76			**「16　ドッジボール大会」** 「ドッジボール」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	80	11		**「17　どうしよう……」** 「目にうかぶ」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目にうかぶ」という言葉の意味を確認する必要がある。
3-2	97	下段	変更	**「21　なんと言ってつたえる？」** 「目線・ひょうじょう」→「顔の向き・ひょうじょう」 （「目線・ひょうじょう」のけんとのセリフを次のように変更した。） 「相手の目を見て」→「相手の方に顔を向けて」 「ひょうじょう」 「身ぶり・手ぶり」	編集の具体的方針(2)-⑤による。 編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	106～109			**「24　光祐くんのアサガオ」** 「白血病」	編集の具体的方針(4)による。 ＊児童の実態に応じて，十分な配慮が必要である。必要に応じて，病気

				についての客観的な説明や，サバイバーの手記を補助教材として加えるなど，指導の工夫が必要である。
112	11		**「25　ひと言の勇気」** 「目を丸くして」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目を丸くする」という言葉の実際の動作と意味を確認する必要がある。
114～119 114 119	11 下段	 変更	**「26　花さき山」** （カッコ内は意味の説明のため，読みを妨げないように奇数ページ欄外に脚注として記載した。） 「ごっつぉう」 「美しいものを見ると」→「美しいものに出会うと」	編集の具体的方針(5)-⑧による。 編集の具体的方針(6)-②による。 ＊「つぉ」の表記は未習のため，確認し，触れる機会としたい。 編集の具体的方針(2)-⑤による。
120～123 123	 1	 変更	**「27　手伝う心」** （支援される立場） （絵を削除し，次のように文章化した。） 「入口の手前にあるスロープの前にひろみさんがいました。」	編集の具体的方針(4)による。 ＊児童は支援される立場になることも多いので，当事者としての視点も加えて学びを深められると良い。 編集の具体的方針(3)-①による。
126	15		**「28　タンタンタンゴはパパふたり」** 「クァー」	編集の具体的方針(6)-②

					による。 ＊「くぁ」の表記は未習のため，確認し，触れる機会としたい。
	133 134	絵 絵	変更 変更	**「30　自分たちにできること」** （ＳＤＧｓの 16 番のアイコンを点図で表した。） （ＳＤＧｓの 14 番のアイコンを点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	142～ 147			**「33　つなみてんでんこ－走れ，上へ－」** 「じしん」 「海」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	158 159	上段 下段	変更 変更	**「しりょう　おたがいの考え・意見をりかいし合う」** （絵を削除し，次のように文章化した。） 「あいづちをうったり，うなずいたりしながら相手の話を聞く。」 （絵を削除し，次のように文章化した。） たとえば，遊びにさそってもらったときに，「今日は行かない。」というのではなく，次のようなひょうげん方法があります。 そうた「さそってくれてうれしいんだけど，今日は用事があるんだ。」 みく「わかった！また今度ね！」	編集の具体的方針(3)-①による。 編集の具体的方針(3)-①による。
4-1	8	7～ 11		**「1　ここまでもどってこれた，今がとっても幸せ－池江　璃花子－」** 「白血病」	編集の具体的方針(4)による。 ＊児童の実態に応じて，十分な配慮が必要である。必要に応じて病気についての客観的な説明を加えるなど，指導の工夫が必要である。
				「7　プロレスごっこ」	

	33			「プロレスごっこ」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	59			**「13　命ーせいいっぱい生きるー」** 「神経芽細胞腫」	編集の具体的方針(4)による。 ＊児童の実態に応じて，十分な配慮が必要である。特に盲学校では，同種の疾患をもつ児童の在籍が少なくない。必要に応じて，病気についての客観的な説明や，サバイバーの手記を補助教材として加えるなど，指導の工夫が必要である。
	65			**「15　ティーボールでのできごと」** 「ティーボール」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	80～83			**「18　学校のじまんを大切に」** 「かさ」 「かさ立て」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
4-2	84 87			**「19　絵はがきと切手」** 「絵はがき」 「切手」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものにつ

					いては，説明を加える等の配慮が必要である。
	90		変更	**「20　人によって態度を変えるのはだめ？」** （絵を削除して，場面を説明する文章を追加した。） １．（そうじをしていないクラスメイトに向かって） 「そうじ当番，ちゃんとやらなきゃだめだよ！」 ２．（ほうきで床をはいている，足に包帯をしたクラスメイトに向かって） 「足のけがだいじょうぶ？そうじ当番，手伝うね。」	編集の具体的方針(3)-①による。
	100	下段	変更	**「23　見方を変えて前向きに」** （漫画「見方を変えて前向きに」は，絵を削除し，場面の説明を加えた。） 【資料８】	編集の具体的方針(3)-③による。
	106	絵	変更	**「24　〇〇のくせに」** （SDGｓの５番のアイコンを点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	121		変更	**「27　受けつがれてきた命－屋久島三大杉－」** （「43,000ha」のように，５桁以上の数字には位取り点を使用した。）	編集の具体的な方針(6)-②による。 ＊位取り点は未習のため，確認し，触れる機会としたい。
	126・127		変更	**「29　ブラッドレーのせいきゅう書」** （「お母さんへのせいきゅう書」「ブラッドレーへのせいきゅう書」を枠で囲んで表記した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	129	写真	変更	**「30　ゆうびんの父　－前島　密－」** （切手の写真は削除し，キャプションを本文の後に記載した。） （写真）前島密が描かれている１円切手	編集の具体的方針(3)-①による。
	136			**「31　十さいのプレゼント」** （夜明けの情景）	編集の具体的方針(2)-③による。 ＊本教材を取り上げる際には，「夜明けの情景」を見ることが難しい児童

	137	下段	変更	（次のように変更した。） 「自然の美しさなどを見て」→「自然の豊かさなどにふれて」 「美しいものに感動した」→「感動した」	への配慮が必要である。 編集の具体的方針(2)-⑤による。
	148	5	変更	**「34　タイガとココア」** （次のように変更した。） 「タイガ（大河）」→「タイガ（大きな河）」	編集の具体的方針(2)-④による。
	159		変更	**「節度をもって，落ち着いた行動を」** （絵を削除して，次のように変更した。） 「ノートの表紙は青で，ペンの色は赤で……。」→「触った感じが違うなあ……。」 「見える景色のことを考える」→「周囲の様子について考える」 「目の前に見えるものを観察する」→「聞こえてくる音のことを考える」	編集の具体的方針(2)-⑤による。
5-1	13	16		**「2　たからもの」** 「漢字練習」	編集の具体的方針(2)-①による。 ＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	25 27	5 上段		**「5　位置について！」** 「顔を見合わせた」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と言葉の意味を確認する必要がある。
	32	32	変更	**「6　公益のために生きる　－渋沢栄一－」** （写真を削除し，キャプションを本文の後に記載した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	64			**「14　二億人を救った化学者　－大村智－」** 「化学者」	編集の具体的方針(2)-④による。 ＊「化学者」と「科学者」は同音異義語で，本

				文から判断しにくいため，意味の説明を加える等の配慮が必要である。
70～ 72	絵	変更 追加	**「15　わたしとあなたの『ふつう』はちがう」** （絵を削除し，文章化した。） 【資料９】	編集の具体的方針(3)-①による。
73	絵	変更 追加	**「バリアフリーな社会へ」** （絵を削除して文章化した。） （絵の説明） 階段のわきのスロープ 駅のホームドアとプラットホームに敷かれた点字ブロック 視覚障害者を誘導する人 高齢者に席をゆずる人 車いすに乗った人と車いすを押す人	編集の具体的方針(3)-①による。
80	3		**「17　ルールを守る」** 「顔を見合わせて」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
81	4		「しょうがいのある人や高齢者のための駐車スペース」	編集の具体的方針(4)による。 ※障害者等用駐車スペースについて知り，当事者としての視点も加えて，学びを深められると良い。
87	写真	変更 追加	**「現代社会にも残る差別の問題」** （写真は削除し，キャプションと説明を本文の後に記載した。） （写真の説明）黒人差別の廃止を求めるアメリカ合衆国での運動。人々は，「ブラックライブズマター（ＢＬＡＣＫ　ＬＩＶＥＳ　ＭＡＴＴＥＲ）」と書かれた旗やプラカードを掲げている。	編集の具体的方針(3)-①による。

5-2	98	写真	変更	「21　トキのまう空」 （トキの写真は削除し，キャプションを本文の後に記載した。） (写真の説明)　日本初の人工ふ化で生まれた「優優」	編集の具体的方針(3)-①による。
	102～105	絵	変更 追加	「22　ネット上の友達」 （スマートフォンの画面を実線枠で囲んだ。絵，マークは削除し，画面の説明を加えた。） □□さやか □□ひなの服かわいくていいね □□（21：35） □□ひな □□おかあさんがおこづかいでなら買っていいよって □□（21：37） ・・・・・・ □□りん □□アルバイトをしたお金が入ったから　前に言ってたワンピースのアイテムあげる。 □□（21：54） □□さやか □□りん姉ちゃん　ありがとう。 □□（21：55） ・・・・・・ □□りん □□お姉ちゃんでも……だめ？ □□（22：05） □□じゃあ　わたしが先に送るね。 □□（22：06） □□::::りんが写真を送る。:::: □□（22：11） □□さやか □□りん姉ちゃん　かわいい。	編集の具体的方針(3)-①(5)-⑤による。

			□□（22：12） □□わたしも送るね。 □□（22：12） □□::::さやかが写真を送る。:::: □□（22：16） ・・・・・・ :.:.:.

115	写真	変更	（てまえどりの写真は削除し，キャプションを本文の後に記載した。） （写真の説明）商品だなの手前にある商品など，消費期限の……「てまえどり」	編集の具体的方針(3)-①による。
115	上段	変更	「三つの絵を見て」→「三つの場面について」	編集の具体的方針(2)-⑤による。
			「27　新幹線開発物語」	
127	写真	変更	（新幹線の写真を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
130	写真	変更	（開業式の写真は削除し，キャプションを記載した。） （写真の説明）東海道新幹線の開業式(1964 年 10 月 1 日)	編集の具体的方針(3)-①による。
			「28　百の診療所よりも一本の用水路を －中村哲－」	
133	地図	変更	（パキスタンとアフガニスタンの地図を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
			「33　世界にひびく伝統の音」	
161	写真	変更	（あんどん風時計の写真は削除し，キャプションを本文の後に記載した。） （写真の説明）ＪＲ姫路駅前のあんどんふう時計。正午から……音色がひびく。	編集の具体的方針(3)-①による。
			「35　天から送られた手紙」	
169	絵	変更	（雪の結晶を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
168	10	追加	（漢字の説明を次のように追加した。） 「六花（ろっか）（６枚の花びら）状」	編集の具体的方針(2)-④による。
			「資料　ＳＤＧｓってなんだろう」	
172	図	変更	（ＳＤＧｓのアイコンの絵を削除し、図は表に変更した。） 【資料 12】	編集の具体的方針(3)-①(5)-⑤による。
173～175		変更	（ＳＤＧｓのアイコンの絵を削除し，文章を実線枠で囲んだ。） ⣿⣿⣿

				ＳＤＧｓの 17 の目標 ∴∴　目標の文言はユニセフによる １　　貧困をなくそう 目標１　　地球上のあらゆるかたちの貧困をなくそう ２　　飢餓をゼロに ・・・・ ⁝‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥⁝	
6-1	20	2		**「４　人生を変えるのは自分　ー秦　由加子ー」** 「目はくぎづけになった」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目がくぎづけになる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
	25	3		**「５　応援団の旗」** 「目がくぎづけになった」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「目がくぎづけになる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。
	25～27 25 27	絵	変更	（旗の絵の中の文字を，絵の説明として脚注の欄に記載した。） （絵の説明）写真に写っている旗には，「力を合わせて優勝だ！！」と書かれている。 （絵の説明）旗には，「優勝へ向けてがんばろう」と書かれている。	編集の具体的方針(3)-①による。
	29	4		**「６　友達だからこそ」** 「しぶい表情」	編集の具体的方針(2)-②による。 ＊「しぶい表情」の表情や意味を確認することが必要である。
	47	2		**「10　個人の権利って？」** 「顔がぼかされていて，だれだかわからないようになっていた」	編集の具体的方針(2)-①による。

					＊児童の経験から具体的に想起できないものについては，説明を加える等の配慮が必要である。
	75	表	変更	**「ごみ問題の解決に向けて　－３Ｒから４Ｒへの転換－」** （表を次のように児童自身が実際にノートに筆記できる形式に変更した。） 　場所ごとに，今あるプラスチックを書いてみよう。 （ア）台所 （イ）ふろ （ウ）洗面所 （エ）リビング （オ）庭・ベランダ	編集の具体的方針(2)-⑦による。
	84～86	絵	変更 追加	**「18　○○しながら」** （絵を削除し，文章化した。） 【資料 13】	編集の具体的方針(3)-③による。
6-2	102	下段 写真	追加 変更	**「22　ひたすらに，自分の心に従って** **－棟方志功－」** （漢字の説明を次のように追加した。） 「板画」（「はん」は「いた」） （棟方志功の写真は削除し，キャプションを脚注の欄に記載した。） （写真の説明）強度の近視のため，板に顔を近づけて制作する志功。	編集の具体的方針(2)-④による。 編集の具体的方針(3)-①による。
	120 121	2 11 2・3		**「25　地球，その大いなる存在」** 「暗黒の宇宙」 「青くかがやいて」 「大気の層の美しさ」 「美しくかがやきを放っている地球」	編集の具体的方針(2)-③による。 ＊本教材を取り上げる際には，地球や宇宙の美しさを見ることが難しい児童への配慮が必要である。
	139	図	変更	**「伝えられていない『ありがとう』の気持ち」** （グラフを削除し，文章化した。）	編集の具体的方針(3)-①

			追加	【資料 14】	による。
	150	絵	変更	**「31　世の中のためになることをしたい　－石橋正二郎－」** （世界最大級のタイヤの絵は削除し，キャプションを脚注の欄に記載した。） （絵の説明）世界最大級の大きなタイヤ（2001 年に開発した鉱山車両用タイヤで，直径 4.02 メートル，重さ 5.1 トンもある。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	153	13 14・15	追加 変更	**「32　北海道の名づけ親　－松浦　武四郎－」** （漢字の説明を次のように追加した。） 「海」→「かい（うみ）」 （漢字の説明を次のように変更した。） 札幌（「サッ」は「かわく」□□「ポロ」は「大きい」，洞爺湖（「トー」は「ぬま」□□「ヤ」は「きし」）	編集の具体的方針(2)-④による。 編集の具体的方針(2)-④による。 ＊現在の地名は，アイヌ語の発音に似た漢字をあてることでできたことを必要に応じて指導したい。
	157	地図	変更	**「33　ベトナムの人に安全な水を」** （ベトナムの地図を点図で表した。）	編集の具体的方針(3)-①による。
	162 163	7 写真	追加 変更 追加	**「34　流氷とアザラシが伝えるもの」** （漢字の説明を次のように追加した。） 「氷上」→「氷上（氷の上）」 （流氷の写真は削除し，キャプションを一部変更して脚注の欄に記載した。） （写真の説明） １．1992 年の流氷。アザラシが氷の上に点在している。 ２．2007 年の流氷。今にもくずれそうな流氷の上にいるアザラシ。	編集の具体的方針(2)-④による。 編集の具体的方針(3)-①による。

３　参考資料

【資料１】「よく　たしかめてから　つたえよー」（１年　p.40･41）

こんな　ことわ　ありませんか。

みか　さんと　しおん　さんが　らいしゅーの　はなしを　して　います。

みか　　「らいしゅーの　やすみに，　ゆーえんちに　いくんだ。」
しおん　　（じゃあ，　らいしゅーの　りえ　さんの　たんじょーびかいわこられないんだ。）
しおん　さんわ　りえ　さんに　みか　さんの　ことを　つたえました。
しおん　　「みか　さんわ，　たんじょーびかいに　こられなくなったみたいだよ。」
りえ　　「ざんねん。　　じゃあ，　ケーキわ　ひとつ　へらしておくね。」
たんじょーびかいの　ひ。　　みか　さんが　たんじょーびかいに　くるとテーブルにわ　みか　さんの　けーきや　ジュースが　ありません。
りえ　　「あれ，　みか　さん　こられなく　なったんじゃ　ないの？」
みか　　「わたし，　そんな　こと　いって　ないよ。」
しおん　さんわ　こまった　かおを　しました。

どこが　もんだいなのでしょー。

【資料２】「11　にちよーびの　できごと」（１年　p.42～44）
（１）
きょーわ　にちよーび。　　まさき　くんの　いえに　ともだちが　やってきました。
はやく　あそびたい　ともだちわ　げんかんを　あけて　なにも　いわずにいえに　あがりました。
（２）
まさき　くんと　まさき　くんの　おとーさん，　おかあさんわ，　びっくりして　ともだちを　みました。
ともだち　　「まさき　くん，　あそぼー！」
（３）
おとーさんが，　ともだちに　あいさつを　しました。
おとーさん　　「いらっしゃい。」
ともだちわ　なにも　いわずに，　まさき　くんと　おもちゃであそびはじめました。
（４）
まさき　くんの　おかあさんが，　おかしを　もって　きて　くれました。
おかあさん　　「おかしを　どーぞ。」
ともだちわ　なにも　いわずに，　おかしを　たべました。
（５）
ゆーがたに　なりました。　　ともだちわ　つかった　おもちゃをそのままに　して，　かえって　いきました。

ともだち　　「じゃあ，　かえるね。」
（６）
ともだち　　「またね。」
まさき　くんわ，　ともだちの　うしろ　すがたを　みながら，　なぜだか　こころの　なかが　もやもや　しました。

【資料３】「いじめる　いじめられる」（１年　p. 65）
ある　ひ，　ともだちが　３にんで　ぼーる　あそびを　して　います。
あなた　　「なかまに　　いれて。」
ともだち　　「きみわ　だめ！」

つぎの　ひ，　あなたが　３にんで　ぼーる　あそびを　して　います。
ともだち　　「ぼくも　いれてよ。」
あなた　　「きみわ　いや。」

【資料４】「24　せかいの　しぐさ」（１年　p.102・103）
「すばらしい！」の　しぐさ
いたりあ　――　ほおを　つまむ。
とるこ　――　てを　すぼめて　１ど　したに　ふる。
にっぽん　――　はくしゅを　する。

ともだちに　「あそぼー。」と　いわれた　ときの　「いいよ」の　しぐさ
あめりか　――　あたまを　まえに　たおす。
いんど　――　あたまを　さゆーに　ゆらす。
えちおぴあ　――　あたまを　うしろに　かたむける。

【資料５】「25　あのね」（１年　p.104～108）
ねずみの　チッチが　あそんで　いると　おもちゃの　くるまを　みつけた。

あ，　くるまが　おちてる！

だれのかな。　　かっこいいな。
ちょっとだけ，　かりちゃおー。

もりえ　あそびに　いくと，　トービーが　うろうろ　して　いた。
「ねえ　チッチ，　あかい　くるま　しらない？　　なくしちゃったんだ。」
（あの　くるまだ！）
ぼくわ　おもわず，
「しらない！」

うそ　ついちゃった。
あした　かえそー！

つぎの　ひ，　チッチわ　トービーと　あそびながら，
「トービー　あのね。」
「ん？」
「なんでも　ない。」

「あのね。」
「なに？」
「あ，　あしたも　あそぼーね。」

どー　しても　いえない。
チッチわ　いえに　かえって　かんがえた。

むねが　ちくちく　いたい。
とげが　ささったみたいに　・・・。

つぎの　ひ　ちっちわ　もりで　また　トービーに
であった。
「チッチ　あそぼ。」
「うーん。　　ちょっと　ちくちく　して，　なんか，
とげが　ささったみたい。」
「たいへん！　ぬかなきゃ。」
「すっごく　いたい。　　あそべないよ。
ぼく　かえる。」

「ふーっ。」
チッチが　いえに　ついた　その　とき　・・・。
とんとん！

「チッチ？　　ぼく，　トービーだよ。」
チッチわ　びっくり。

「やあ，　チッチ。　　とげを　ぬいて　あげるよ。」
「え？」
「これが　ちいさい　とげの　とき。　　こっちが　おおきい　とげの
とき。」
トービーわ　とげぬきを　とりだした。
「あ，　ありがと。　　だけど，
だけど　・・・。」

「ごめんね。　　ぼく，　うそを　ついてた。
トービー，　これ　かえすよ。」
そー　いって，　チッチわ　あかい　くるまを
トービーに　わたした。

「ねえ，　チッチ，　ほんとの　こと　いうとね、
これ，　おにいちゃんの　くるまなんだ。
ぼくが　こっそり　もちだして，　うそ　ついちゃった。　　だから，
おにいちゃんと　はなす　ときわ　いつも　どきどき。
すっごく　どきどき。」
「ぼくの　ちくちくと　おんなじだあ。」

「トービー，　おにいちゃんに　はやく　かえさなきゃ！」
チッチわ　トービーの　てを　ひいて　はしりだした。

「もー　ちくちく　しないよ。」
「もー　どきどき　しないね。」

【資料６】「22　くらべてみよう　日本とせかい」（２年　p. 88～90）
□□□□「はし」
□□日本　――　先が細い。
中国　――　ぜん体が同じ太さ。
かん国　――　ぜん体にひらべったい，金ぞくでできている。

「じゃんけん」
（日本）
石　――　グー。ゆびをすべてとじてにぎる。

はさみ　――　チョキ。人さしゆびと中ゆびをのばす。
紙　――　パー。ゆびをすべて広げる。
（インドネシア）
ゾウ　――　親ゆびのみをのばす。
人　――　人さしゆびのみをのばす。
アリ　――　小ゆびのみをのばす。
（フランス）
石　――　グー。ゆびをすべてとじてにぎる。
はさみ　――　チョキ。人さしゆびと中ゆびをのばす。
はっぱ　――　パー。ゆびをすべて広げる。
いど　――　すべてのゆび先を合わせる，ゆび先をくっつける。

「ありがとう」
日本　――　ありがとう
中国　――　シェシエ
アメリカ　――　サンキュー
ドイツ　――　ダンケ
インド　――　ダンニャバート
ケニア　――　アサンテ
ブラジル　――　オブリガード
ロシア　――　スパスィーバ

【資料７】「４　ふろしき」（３年　p.22・23）

１　重箱のつつみ方（四つむすび）
１．ふろしきのうらめんを上にして広げておく。
２．ふろしきの一つの角を手前にし，ダイヤの形になるようにする。
３．ふろしきの中おうに重箱をおく。
４．むかい合った角どうしをむすぶ。

２　びんのつつみ方（びんづつみ）
１．ふろしきのうらめんを上にして広げておく。
２．ふろしきの一つの角を手前にし，ダイヤの形になるようにする。
３．ふろしきの中おうにびんをおく。
４．手前とおくの角を持ち，びんの口の上でむすぶ。
５．左右の角を持ち上げ，びんのおくでこうささせる。
６．左右の角をそれぞれねじりながら，びんの手前でむすぶ。

３　かぼちゃのつつみ方（すいかづつみ）
１．ふろしきのうらめんを上にして広げておく。
２．正方形になるようにする。
３．ふろしきの中おうにかぼちゃをおく。
４．手前の角と角をかた手が通るくらいのすきまをあけてむすぶ。
５．おくの角も同じようにむすぶ。
６．二つのむすび目を持って，手前のむすび目をおくのすきまに通す。
⠶⠶⠶

お父さん「『護』には『守る』という意味もあって，このお寺では『護』という漢字を使って『護美箱』と書いてあるんだ。」

11

ぼく「ごみばこ　……。」

12

ぼく「そっか……。この『護美箱』には，美しさを護るという意味がこめられているんだね。」

お父さん「そうっ！　いいことに気がついたな。」

13

お父さん「次はあっちに行こうか」

お父さんはそう言って歩き出しました。

ぼく「　……。」

ぼくはまだ気になって，護美箱を見つめていました。

14

数日後，また公園でＡ君とおかしを食べていました。

Ａ君「そろそろ帰るかー」

15

Ａ君が，食べ終わったおかしのふくろを持って立ち上がりました。

ぼく「ちょっと待って。」

Ａ君「ん？」

16

Ａ君はまたごみをその場にすてようとしていたので　ぼくはお寺で見た「護美箱」の話をしました。

17

ぼく「だからきちんとごみ箱にすてないと……。」

18

クルッと後ろを向くＡ君。

ぼく「あっ」

19

Ａ君「それ，なんかいいね。」

Ａ君は笑顔でごみ箱にごみをポイと捨てました。

ぼく「え……」

20

ぼく「うんっ！」

ぼくはにっこり笑ってうなずきました。

【資料９】　「15　わたしとあなたの『ふつう』はちがう」（５年　ｐ.70～72）

□□□□１
□□ユニフォームを着ている男の子「Ａくんは体が小さいから，野球は
無理だよ。」
□□Ａくん「でも，ぼく，野球がやりたいよ。」
２
ユニフォームを着ている男の子「Ｂさんは女の子だから，野球は無理だよ。」
Ｂさん「わたしも野球やりたいのに。」
３
女の子「男なのに，ピンクのシャツなんか着て変だね。」
男の子「そうかな，ぼく，この色，好きなんだけど。」
４
お店のレジの前でおばあさんが，財布からお金を出そうとしている。その後ろに男の子が並んでいる。
男の子　⠷ちょっとおそいなあ。）
⠷⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠾

⠷⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠾
□□□□１
□□お母さんが，いそがしそうに掃除や洗濯をしている。
□□わたし　⠷うちは，お母さんが外で仕事をしながら，ほとんどの家事も行っている。⠾
２
お父さんは，ソファーでスマホを見ている。お母さんは，台所で洗い物をしている。
わたし「お母さん，家事でいそがしそうだね。」
お父さん「家事は，お母さんの仕事だからね。お父さんは，会社の仕事を
がんばっているよ。」
３
わたし　（でも，友だちの家の場合は，お父さんとお母さんが家事を分担している。）
友だちのお父さんが料理をしていて，お母さんが洗濯物を干して
いる。
４
友だちの家族４人で食卓を囲んでご飯を食べている。
友だち「お父さんの料理，おいしいね。」
友だちのお父さん「お母さんの料理もおいしいけど，お父さんのも
なかなかだろう。」
⠷⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠾

⣿⣿⣿

（内訳）
事業系―約 324 万トン
家庭系―約 276 万トン

□□国民一人当たりの食品ロス量で計算すると，1 日約 130g（お茶碗一杯のご飯の量に相当）。年間約 47kg（年間一人当たりの米の消費量約 54 kgに近い量）。

【資料 12】　「SDG s ってなんだろう」（５年　p.172）

□□□□□□SDG s
□□（参考　日本ユニセフ協会）

□□持続可能な(サスティナブル　Sustainable)
　開発(ディベロプメント　Development)
　目標(ゴールズ　Goals)

□□□□「５つのＰ」
　１．人間（ピープル　People）―目標１～６
　２．豊かさ（プロスペリティ　Prosperity）―目標 7～11
　３．地球（プラネット　Planet）―目標 12～15
　４．平和（ピース Peace）―目標 16
　５．パートナーシップ（Partnership）―目標 17

【資料 13】　「18　○○しながら」（６年　p.84～86）

□□□□ 1
　私がリビングで宿題をしている。
　　2
　時計は９時直前を指している。
　私「あ，もう始まる！」
　　3
　ライブ配信を見ながら，宿題をする私。
　　4
　母「ライブを見ながらで，頭に入るの？」
　私，はっとする。

⠶⠶⠶⠶　⠶まんが⠶　⠶⠶⠶⠶

（20 歳代～60 歳代
551 人中）
□□伝えたことがない□――□44％
全部伝えられていない□――□５％
あまり伝えられていない□――□26％
そこそこ伝えられている□――□23％
十分伝えられている□――□２％

□□□□３．十分伝えられていないと思う
□□□□□□理由は？□□（複数回答
□□□□□□20 歳代～60 歳代
416 人中）
□□伝えるのがてれくさいから□――□56％
きっかけやタイミングがないから□――□48％
言わなくても伝わっていると思うから□――□10％
めんどうだから□――□５％
（ＰＦＵ「感謝の気持ち」に関する意識調査（2017 年）より）